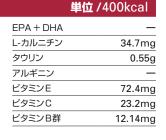
肝臓サポートで





犬用 肝臓サポートは、肝疾患に伴う高アンモニア血症や肝性脳症を呈する犬に給与することを目的 として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、消化性の高いタンパク質を使用するとともに、 銅の含有量を制限し、必須脂肪酸および亜鉛の含有量を調整しています。

成分			
タンパク質	18.8g	カリウム	0.78g
脂肪	12.2g	リン	0.69g
食物繊維	8.7g	マグネシウム	0.10g
灰分	4.3g	鉄	8.7mg
水分	185g	銅	0.87mg
炭水化物	63.1g	亜鉛	17.4mg
カルシウム	1.0g	ナトリウム	0.14g





代謝エネルギー ・・・ 138kcal/100g

原材料

米、コーン、コーンフラワー、鶏肉、鶏レバー、サンフラワーオイル、乾燥卵白、セルロース、ビートパルブ、フラクトオリゴ糖、マリーゴールドミール(ルテイン源)、ミネラル類(Zn、Ca、 P、Mg、Na、K、Cl、Fe、Cu、Mn、I)、増粘多糖類、アミノ酸類(タウリン、L-カルニチン)、ビタミン類(C、コリン、E、B1、ナイアシン、バントテン酸カルシウム、D3、B2、B6、葉酸、ビオチン、 B12)

※調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

この製品の特長



肝細胞内の銅蓄積に 配慮し、銅含有量を制 限。



健康を維持するため に、複数の抗活性酸 素物質(ビタミンE、ビ タミンC、タウリン、ル テイン)を配合。



食欲低下傾向のある 心疾患の犬に配慮し、 高エネルギー密度に 調整。



体液貯留に配慮し、 ナトリウム含有量を 調整。

この食事療法食の対象

● 高アンモニア血症および肝性脳症

アンモニアなどの窒素性老廃物に配慮し、分岐鎖アミノ酸(BCAA)を含む高消化性の 植物性タンパクを使用するとともに、適切な含有量に調整しています。また、発酵性食 物繊維が腸内細菌に利用されて生成される短鎖脂肪酸は腸内pHを低下させるため、 アンモニアの吸収減少が期待できます。

● 肝性脳症 (慢性的な肝疾患や門脈シャントによって起こる) ●門 脈シャント

門脈圧亢進による腹水や体液貯留に配慮し、ナトリウム含有量を0.05%(0.14g / 400kcal)に制限しています。

● 銅蓄積性肝疾患

胆汁うっ滞による肝細胞内および間質への銅蓄積に配慮し、銅の含有量を制限して います。

● 尿酸アンモニウム結石症

尿酸のもととなるプリン体の含有量の少ない食事が推奨されます。

※継続して使用する場合も定期的な診察を奨励しています。

使用が推奨されない病態等

● 妊娠/授乳期、成長期

タンパク、リン、銅などが不足するため推奨されません。

● 膵炎

● 高脂血症

● 軽度肝炎や空胞性肝障害など

軽度肝炎や空胞性肝障害などでは、肝臓の回復のためにタンパク質が必要となり ます。このような場合、タンパク質を制限した本製品は推奨されません。

1日の給与量の目安

成犬0	D体重 (kg)	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	30	40
Į į	票準	135g	225g	305g	380g	450g	515g	575g	635g	695g	755g	1020g	1265g
調整範囲	最大	150g	255g	345g	430g	510g	585g	655g	725g	790g	855g	1160g	1440g
	最小	115g	195g	265g	325g	385g	445g	500g	550g	600g	650g	880g	1095g

ここに表示されている給与量は使用開始時の目安です。個体差や活動量に応じて調整してください。